

## 9 体操実施

- 1 期 日
- |              |                                     |                      |
|--------------|-------------------------------------|----------------------|
| 令和5年5月12日(金) | 新体操監督会議                             | 新体操割り当て練習            |
| 令和5年5月13日(土) | 新体操団体競技<br>体操競技監督会議                 | 新体操個人競技<br>体操競技フリー練習 |
| 令和5年5月14日(日) | 体操競技審判会議<br>体操競技少年の部(団体総合、個人総合、種目別) |                      |
| 令和5年5月20日(土) | トランポリン競技監督会議・審判会議<br>トランポリン競技       |                      |
- 2 会 場
- (体操競技・新体操) 山形市総合スポーツセンター
- (トランポリン競技) 南陽市民体育館
- 3 競技区分
- 特別国民体育大会山形県予選会兼第50回東北総合体育大会山形県予選会
- 4 競技規定
- (1) 日本体操協会制定競技規則並びに採点規則による。ただし、本大会特別規則は審判会議・監督会議を経て適用する。
- (2) 出場校は必ず有資格者1名の審判を紹介すること。
- (3) 各校の監督を審判に委嘱することがある。
- (4) トランポリン競技の審判については、協会派遣とする。
- 5 競技方法
- (1) 体操競技
- ① チームの編成
- (ア) 成年・少年男女とも個人選手権とするが、少年男女においては各種目のベスト3によりチーム選手権も併用する。選手8名まででチームを編成(1チーム3名でも可)し、他に補欠2名を認める(申込書に明記のこと)。2名以下の場合には個人として競技に参加することができる。なお、申込書の1から4までの選手は2班に、5以降の選手は1班に編成する。参加者が少ない場合は1班にまとめて班編成することもある。その場合は細部連絡にて通達する。
- (イ) 少年男女とも1登録団体より出場できる選手は10名(チーム8名、補欠2名)までとする。また、男女ともマネージャー1名を申し込むことができる。
- (ウ) チーム選手権は、1班から2班、2班から1班へ入れ替えることができる。
- ② 競技方法
- (ア) 成年男子、成年女子(個人総合及び種目別)
- 男子は、ゆか・あん馬・つり輪・跳馬・平行棒・鉄棒の6種目の自由演技を行う。個人総合成績順位は、6種目の自由演技の得点総合計によって決める。ルールは日本体操協会体操競技男子2022年版採点規則、男子体操競技国内内規及び男子体操競技最新情報までを適用する。種目別成績順位は、各種目別の得点によって決める。
- 女子は、跳馬・段違い平行棒・平均台・ゆかの4種目の自由演技を行う。ルールは日本体操協会体操競技女子2022年版採点規則(変更規則I)及び女子体操競技最新情報までを適用する。個人総合成績順位・種目別成績順位の決定方法は男子に準ずる。

(イ)少年男子、少年女子(個人総合・種目別ならびに団体総合)

(a)男子は、ゆか・あん馬・つり輪・跳馬・平行棒・鉄棒の6種目の自由演技を行う。ルールは日本体操協会体操競技男子2022年版採点規則、男子体操競技最新情報及び高等学校男子適用規則までを適用する。

女子は、跳馬・段違い平行棒・平均台・ゆかの4種目の自由演技を行う。ルールは日本体操協会体操競技女子2022年版採点規則(変更規則I)・女子体操競技最新情報及び高等学校女子適用規則までを適用する。

(b)個人総合及び種目別

男子の個人総合成績順位は、6演技の得点合計によって決める。

女子の個人総合成績順位は、4演技の得点合計によって決める。

種目別成績順位は、棄権種目のある選手の得点も有効とする。

(c)団体総合

団体総合成績順位は、各チームの男子6種目、女子4種目のベスト3の得点総合計によって決める。

(注)同点同位が出た場合の順位決定は、日本体操協会の競技規則による。

(2)新体操女子は2022-2024年新体操採点規則、2023年度版ルール確認事項の内容を採用する。

- ① 競技内容 少年女子 団体競技(フープ5)  
個人競技(フープ・ボール・クラブ・リボン)

成績順位は、以下の合計得点によって決める。

② 競技方法

団体競技の得点及び個人競技の得点(4種目4演技×4/1)の合計

個人競技の演技者として、団体5名のうちから4名だけが出場できる。

(注)同点同位が出た場合の順位決定は、日本体操協会の競技規則による。

(3)トランポリン

① 競技方法(男女共通)

(a)男女とも成年・少年はそれぞれ共通とし、個人競技で行う。

予選は第1自由演技と第2自由演技を行い、2つの合計得点により予選順位を決定する。

予選順位の12位までの選手が決勝に進出できる。

(b)第1自由演技について

演技得点(Eスコア)、跳躍時間点(Tスコア)及び移動減点(Hスコア)の3つの合計が第1自由得点とする。

【特別要求】

演技は10種目の異なった種目で構成し、「前方の270度以上の宙返り」と「後方の270度以上の宙返り」をそれぞれ1回行わなければならない。これらの要求種目が欠如した場合は、合計得点から2.0の減点がなされる。

(c)第2自由演技及び決勝自由演技について

10種目を自由に構成し、演技得点(Eスコア)、難度点(Dスコア)、跳躍時間点(Tスコア)及び移動減点(Hスコア)の4つの合計が第2自由得点とする。また、決勝自由演技も同様、10種目を自由に構成し、4つの項目の合計が決勝の得点となる。

(d)器具

国際体操連盟公認トランポリン器具とする。

## 6 参加資格

- (1) 山形県体操協会に本年度の登録を完了したもの。
- (2) 本大会総則の7「参加資格及び選手の年齢基準等」の条件を満たすもの。山形県の選手として疑問がある場合は、事務局に問い合わせること。
- (3) 体操競技・新体操については、県中体連体操専門部より推薦された中学3年生が参加出来る。但し、学校長及び保護者の承認を得た者とする。
- (4) トランポリン競技に参加できる選手には、2008年4月2日から2009年4月1日までの間に生まれた中学3年生を含むものとする。但し、保護者の承認を得た者とする。
- (5) 国体に参加する選手は、本県大会に参加しこれを通過した者であること。
- (6) 参加資格に疑義があるときには、(公財)山形県スポーツ協会及び当該競技団体が審査し決定する。

## 7 その他

- (1) 選手は健康診断を受け、健康であることを証明された者であること。
- (2) 健康保険証を必ず持参すること。
- (3) メンバーの最終決定は、体操競技・新体操・トランポリンはそれぞれの監督会議で決定する。
- (4) 競技日程は後日事務局より連絡する。
- (5) 会場でのゴミの分別収集にご協力下さい。(持ち帰りを原則とする)
- (6) 学校の顧問・チーム責任者より、本人及び保護者に対し、「大会プログラム作成及び成績上位者の報道発表並びに(公財)山形県スポーツ協会ホームページへの記載について」口頭による同意を得ること。

## 8 表彰並びに選考

- (1) 各種別及び種目・チーム選手権の1位から3位までに賞状を授与する。
- (2) 東北大会及び国体への派遣選手・役員は山形県体操協会選考基準(別紙)に添って、各技術委員会が推薦し、選考委員会で最終決定する。
- (4) 選考委員会は、山形県体操協会会長・理事長・強化部長・各委員長・事務局長及び本大会各審判長をもって構成する。

## 9 申込み

- (1) 参加申込み
  - ① 別添参加申込書により2部作成のうえ出場認知書(少年のみ)を添え、下記あて送付すること。
- (2) 申込み締め切り日 (参加・振込) 令和5年4月17日(月)必着
- (3) 申込先  
〒999-3764 東根市神町東1丁目10-43  
山形県体操協会 安達 優美 宛  
TEL:090-7065-2494 FAX:0237-47-1543  
E-mail:[yamagatagym1952@yahoo.co.jp](mailto:yamagatagym1952@yahoo.co.jp)
- (4) 参加料は下記に振込とする。

振込先 : 山形銀行 県庁支店(113)  
口座番号 : 普通預金 813842  
名義人 : 山形県体操協会 会長 布川元

- 10 参加料等** 本大会に参加する監督、選手は次の参加料を納付すること。
- (1) 成年1名に付1,500円(オリンピック募金 250 円、スポーツ振興募金 100 円を含む)
  - (2) 少年1名に付1,000円(オリンピック募金 170 円、スポーツ振興募金 100 円を含む)
  - (3) マネージャー及び補欠は参加料を必要としない。
  - (4) 少年の種別の監督は少年扱いとする。ただし、少年の監督と成年の選手を同一競技内で兼ねる場合は成年選手扱いとする。

**(内規)**

・選考基準についての特例

不慮の事故発生で大会が開催できなかった場合の選考基準は、別途山形県体操協会の選考基準(別紙)による選手選考 とする。

・新型コロナウイルス感染症防止対策として

山形県及び東北体操協会並びに山形県高体連体操専門部のガイドラインに沿って大会運営を実施する。